

わが国の腎臓病患者における腎生検データベース構築

ならびに総合データベース構築に関する研究

京都府立医科大学腎臓内科では、「わが国の腎臓病患者における腎生検データベース構築ならびに腎臓病総合データベース構築に関する研究」に参加しております。

実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

腎不全になる腎臓の病気はたくさんあります。そのため病気を早く発見して、治療を行うことが大切です。腎臓病の種類や、治療のしかたを決めるために、腎生検を行います。腎生検の全国調査が2007年から始まっています。これを日本腎生検レジストリーと言います。また、腎生検をしなくてもわかる腎臓の病気があります。これも含めて、2009年に日本腎臓病総合レジストリーが始まっています。

全国の腎臓病の患者さんの腎生検や血液の検査、尿の検査の結果を集めて、それを毎年まとめます。まとめた結果から、日本でどれくらいの数の腎臓病の患者さんがいるのか、またその状態がわかります。これをもとにして、どのような治療が行われているのか、患者さんがどのような経過をたどるのか、調査して将来の治療に役立てることが目的です。

本研究を行うことで、腎臓病の種類や、患者さんの数、病気の程度や治療の種類、患者さんの経過がわかります。今後、新しい治療の方法や、病気の種類、病気の原因について、さらに明らかになってくることが期待されます。

研究の方法

・対象となる方について

2009年1月～2028年12月末までに腎臓内科で腎生検を受けられた患者さん、腎臓病の診断を受けられた患者さんを研究の対象とします。なお、レジストリー参加施設は日本腎臓学会のホームページに掲載されています。

・研究期間：2019年〇月〇日医学倫理委員会承認後～2028年12月31日

・方法

2009年1月～2028年12月末までに京都府立医科大学附属病院で腎生検を受けられた患

者さん、腎臓病の診断を受けられた患者さんについて、これまでの診療でカルテに記録されている年齢・性別・臨床診断・臨床所見・病理組織所見・治療の内容・血液検査・尿検査などを日本腎臓学会の腎臓病総合レジストリー（データベース）に登録していき、全国より登録されたデータの集計を行います。

・研究に用いる試料・情報について

情報：年齢、性別、臨床診断名、腎生検実施日、腎生検回数、身長、体重、血圧、降圧薬内服の有無、糖尿病診断の有無、治療の内容、血液・尿検査結果、腎生検所見、腎生検の組織画像、病理検体番号 等

・外部への試料・情報の提供

登録情報は、日本腎臓学会の腎臓病総合レジストリー参加施設に提供される可能性があります。提供の際、個人情報を直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

・個人情報の取り扱いについて

試料あるいはデータの管理はコード番号等で行い、あなたの氏名が外部に漏れることは絶対にないように十分注意して行います。

・試料・情報の保存および二次利用について

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、大学病院医療情報ネットワーク研究センター（UMIN）のサーバで保存させていただきます。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、海外の学会や学術団体との共同研究も含めて、日本腎臓学会のホームページに掲載してお知らせします。

研究組織

研究責任者

京都府立医科大学 腎臓内科学教室 玉垣 圭一

お問い合わせ先

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人情報が見えない形にして、学会や論文で発表します

ので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としますので、2028年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

京都府立医科大学附属病院 腎臓内科

医師 玉垣 圭一

電話：075-251-5511

対応可能時間 平日 9:00~17:00